

# 高島エリアの公共施設の将来のあり方を考える市民対話《かわら版》

## 🍅 第3回 開催報告 🍅



ご参加いただいた皆さま  
ありがとうございました。

**日時** 平成30年7月22日(日) 18:30~20:30

**場所** 高島ふれあいセンター 多目的ホール

**参加者** 地域の皆さん 26人



### 1 第3回までに話し合ってきた内容

#### 第1回

(5/20)

- ①長崎市の**公共施設の現状**（利用状況や老朽化の状況など）や**見直しの必要性**についてご説明しました。
- ②高島の将来を**安心して暮らしていけるまち**にしていくために、**どんな施設を見直すべきか**、また**その理由**について話し合いました。

#### 第2回

(6/24)

- ①長崎市の公共施設の**基本的な配置の考え方**をご説明したうえで、市で検討した**高島の施設の見直し案**をお示しました。
- ②見直し案への**意見、アイデア**や**質問**について話し合いました。

#### 第3回

(7/22)

- ①第2回で参加者の皆さんから出された意見に対し、**市で検討した結果**をお示しました。
- ②第2回で参加者の皆さんから意見をいただいた施設について、市から**「話し合っていたきたいこと」**をお示しし、グループごとに**意見交換**を行いました。

対話のようす

詳しい内容は、  
中面をご覧ください。



## 2 市からの回答 と 話し合っていたきたいこと

第3回の市民対話では、第2回の市民対話で参加者の皆さんからいただいたご意見について、市から回答をするとともに、併せて市から参加者の皆さんにお聞きしたいことを示して、グループで話し合っていました。 ※各班の意見の主なものを掲載しています。



### ○飛島磯釣り公園

第2回

参加者の  
皆さん  
前回の  
主な意見

- ・ イカダを設置して魚を集め、釣り客の増加につなげる取り組みをしてはどうか。



第3回

市  
回答

- ・ 施設のオープン時に、隣接した海上に浮棧橋式の釣り堀を設置していましたが、利用者が少なく、再三にわたる台風被害により修理費用が多額となったことから、廃止に至った経緯があります。
- ・ また、施設改修や安全対策等のための費用が増えること、設置場所によっては漁業への影響があること等の課題があり、設置は困難であると考えます。

### ○市営住宅

第2回

参加者の  
皆さん  
前回の  
主な意見

- ・ エレベーターを設置するよりも、新しい住宅を造った方が良い。
- ・ 2部屋を1部屋にして広く使い、民泊として釣り客に貸すなどして活用する。



第3回

市  
回答

- ・ 建設年度が比較的新しく、耐震性がある住宅については、これからも長く使い続けていく建物として、バリアフリー化等の改善を図りながら使用していきます。
- ・ 市営住宅の空き部屋をそのまま民泊に利用することはできませんが、市営住宅として用途を廃止した建物については、建物の老朽化等の課題はあるものの、民間への売却等による宿泊施設としての利用も含め、有効活用を検討します。

参加者の  
皆さん  
今回  
いただいた  
意見

- ・ 百万住宅が廃止になった後、減築して耐震性を確保して、民間への貸出や譲渡ができないか。1, 2階部分を宿泊施設にして、3階は住宅のままにするか、石炭資料館等を入れるような使い方はできないか。

### 対話のようす



## ○しまの宿五平太（宿泊施設）

第2回

参加者の  
皆さん  
前回の  
主な意見

- いやしの湯とともに旅行商品へ組み込む等、利用者を増やす取り組みの余地があるのではないか。

市  
回答

- 宿泊施設の運営は、民間の方が行政よりも力を発揮しやすい分野と考えます。
- 市として施設利用のPRや地域の魅力のアピールに努めていきますが、旅行商品化については、民間が主体となって取り組んでいただきたいと考えています。

質問

- 高島において、民間が宿泊施設を運営するためのよいアイデアはありますか。

第3回

参加者の  
皆さん今回  
いただいた  
意見

- 高砂園の2階を宿泊施設にして、1階に入所する高齢者の見舞いに訪れた人が家族連れで泊まれるようにしてはどうか。
- 幼稚園は現在の場所だと不審者の心配があるので、ふれあいセンターの中に移転して、空いた幼稚園の建物を改修して合宿施設にしてはどうか。
- 市が設備投資をして建物を建て、運営を民間に委託をする、という方法をとるしかないと思う。

## ○市設高島市場

第2回

参加者の  
皆さん  
前回の  
主な意見

- 市場で料理を提供したくても火が使えない。市場という縛りをなくせば、いろいろな利用ができるのではないか。
- 空きスペースを、人が集まって利用できるようにしてはどうか。



市

回答

- 今後、島内事業者等からのご意見も伺いながら、市場の枠組みをなくすことでどのような使い方ができるのか、空きスペースをどのように活用できるのかについても検討していきます。

質問

- 市場の空きスペースを利用できるとしたら、みなさんはどのように使いたいですか。

第3回

参加者の  
皆さん今回  
いただいた  
意見

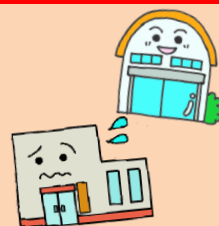
- 規制を緩和して、市場で製造も販売もできるようにしてはどうか。
- 市場がある場所に多くの人を集めるために、アクセサリー作りやケーキ作りなど、有効活用したい人が使えるようにする。そのために規制を撤廃することに取り組む。
- 住民のみなさんにやりたいことを募集し、有効活用したいと思っている方々に安い家賃で貸して、今まで以上の家賃収入を得られるようにする。
- 公設（市場）の位置付けを外せばうまくいく。

## ○その他の意見

第2回

参加者の  
皆さん  
前回の  
主な意見

- ・ 公共施設を廃止する場合、それはいつになるのか。継続する場合はいつまでなのか。もっと詳しく説明してほしい。
- ・ 施設のメンテナンスに今後どのくらいの費用をかけることができるのかわからないと、施設の見直しを考えることは難しい。



市

回答

- ・ 今回の見直し案は、将来、2040年の長崎の姿を念頭に、行政サービスとそれを提供する拠点の配置のあり方について、考えていくものです。施設の具体的な見直しの時期などについては、施設の状況などを見ながら地域のみなさんとお話をしていきたいと考えます。

第3回

参加者の  
皆さん  
今回  
いただいた  
意見

- ・ 施設のメンテナンスについては、予算を積み立てによって用意し、計画的にしてほしい。また、施設を造る段階で、メンテナンスしやすいようにするべきではないか。
- ・ 高島再生が大事ではないか。住民のみんなで知恵を出し合って、いいアイデアを考え、それを検討して、実行していけば、高島の再生はできると思う。
- ・ 地域のみなさんがひとつになって、アイデアを出してもらってみんなで協力する、ということが必要ではないか。

## 【総評】アドバイザー：首都大学東京 都市環境学部 讃岐 亮 先生

- 今の施設を全て維持していこうとすると、何十年かけてもずっと赤字のままメンテナンスしなければいけません。サービスの提供に必要な施設を市が全て持つ時代ではないなかで、みなさんにとって一番重要なサービスは何なのか、経営者目線で考えていただきたいと思っています。
- 市場の活用で、地元の活用したい方に手を挙げてもらうというアイデアがありました。みなさんが地元を感じているポテンシャルを拾っていくことは大切だと思います。みなさんが活躍できる場となるなら、それは必ずしも「公共施設」である必要はないのかもしれない。

## 次回の対話では・・・



これまでの対話を踏まえて、市が検討した結果をお伝えします。それに対して、意見交換を行いたいと考えています。また、対話全体のまとめを行います。

次回の対話

第4回

日時：平成30年8月26日（日） 15時30分から  
場所：高島ふれあいセンター多目的ホール

時間が前回と  
変わります  
ご注意ください

◆お問い合わせ：長崎市理財部資産経営室（☎直通：095-829-1412）